

## 平成 30 年度 第 4 回鶴岡市スポーツ推進審議会 会議録

- 日 時** 平成 31 年 3 月 27 日（水）午後 2 時から 3 時 45 分まで
- 会 場** 小真木原総合体育館大会議室
- 審議事項** 議 事  
平成 31 年度スポーツ団体の補助金交付について  
報告並びに説明  
(1) 平成 30 年度スポーツ振興主要事業等の実施状況について  
(2) 平成 31 年度スポーツ振興重点事業について
- 出席委員** 渡部正芳会長、齋藤隆委員、佐藤祐司委員、齋藤範夫委員、石川真澄委員、丸山春男委員、佐々木真人委員、村田久忠委員、鎌田博子委員、鈴木金右エ門委員、佐藤しおり委員、千田洋子委員
- 欠席委員** 飯野準治副会長、小田悟志委員、佐藤武委員
- 事務局** 鶴岡市教育委員会 教育部長 石塚健、同学校教育課指導係専門員 佐藤友大、同スポーツ課長 齋藤匠、同スポーツ課長補佐 高橋修也、同スポーツ課スポーツ振興主査 阿部三成、同スポーツ課スポーツ振興専門員 齋藤正人
- 公開・非公開の別** 公開
- 傍聴人の人数** 0 人
- 審議経過** 以下のとおり

### 1. 開会

**高橋（事務局）** 本日は、年度末のお忙しいところご出席いただきありがとうございます。ただいまから平成 30 年度第 4 回鶴岡市スポーツ推進審議会を開会いたします。

### 2. あいさつ

**高橋（事務局）** はじめに教育部長 石塚健がご挨拶を申し上げます。

**石塚教育部長** こんにちは。本日は、年度末の大変お忙しい中、ご出席をいただき誠にありがとうございます。本来であれば教育長がご挨拶を申し上げるべきところですが、所用のため出席できませんので、代わって一言ご挨拶を申し上げます。まずもって、委員の皆様には、日頃から本市のスポーツ振興施策に対しまして、ご指導・ご助言をいただき、厚く御礼を申し上げます。さらに今年度は、スポーツ推進計画の後期改定計画を策定するに当たりまして、これまで 3 回の審議会を開催し、皆様から貴重なご意見を頂戴して参りました。重ねて御礼を申し上げます。前回 1 月の審議会以降の経過と致しましては、審議会でもとめました計画案を、2 月 4 日に渡部会長から教育長へ答申をいただきまして、その後三週間に渡ってパブリックコメントを実施し 2 件のご意見をいただきました。2 件とも屋内スケート場の設置を要望するものでしたが、計画案の修正までには至らず、先週 3 月 22 日、定例教育委員会で計画案が承認されまして、おかげさまをもちまして計画策定の運びとなりました。ここにご報告申し上げますとともに改めて御礼申し上げるところでございます。本当にありがとうございます。教育委員会といたしましては、この後期改定計画の目標達成に向けまして、今後一層スポーツの振興に努

めて参りますので、委員の皆様には、引き続きご指導を賜りますようお願いを申し上げます。本日は、第4回目の審議会でございますが、「スポーツ団体への補助金交付」についてご意見をお聴きするほか、「平成30年度スポーツ振興主要事業等の実施状況」、及び「平成31年度スポーツ振興重点施策」について報告・説明をさせていただきます。その後、本市のスポーツ振興施策全般について、皆様のご意見を賜りたいと考えております。後ほど事務局から資料をご説明いたしますが、委員の皆様には、ぜひ忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。あいつとさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

**高橋（事務局）** 続きまして、渡部正芳会長にご挨拶をお願いいたします。

**渡部会長** 皆さんお忙しいところご苦勞様でございます。今部長さんからいろいろお話がございました通り、皆様方から今年度審議頂いた後期改定計画について、一段階クリアしたという話でございます。本当にご苦勞様でございます。今日は、次第でございます通り、来年度、ここでは平成31年度とありますが、年号がどう変わるかわかりませんが、新しい年度の補助金交付について、皆様から審議頂くという事になる訳でございます。その後で意見交換がございしますが、来年度の補助金交付で実施されることを想定してご意見等を十分に頂ければありがたいと感じているところです。特に、いよいよ来年は、東京オリンピック・パラリンピックという事で、いやがおうにも競技スポーツに対する関心が国民的に高まっていく事だろうと思っております。しかしながら、その後のことを考えた時に、私の個人的な意見ではありますが、競技スポーツと、いわゆる定義はともかくとして生涯スポーツと若干の乖離を個人的に感じております。その辺をこれから解消するには、やはり指導者の問題でないかなと考えておりますけども、そういう視点で、また更に意見の交換を深めていただければありがたいというふうに感じている次第であります。今日は一つよろしくお願いいたします。

### 3. 協議

**高橋（事務局）** ありがとうございます。ここで委員の出欠についてご報告申し上げます。本日は3名の委員、1.飯野準治副会長、4.小田悟志委員、15.佐藤武委員から欠席の連絡をいただいております。本日、委員15名中12名の出席でございます。過半数の出席を得ておりますので、条例第6条第2項の規定により本審議会は成立していることをご報告申し上げます。それでは次第の3.議事に移らせていただきますが、議長につきましては、同じく第6条第1項に、会長が議長となる旨規定されておりますので、渡部会長をお願いいたします。なお、議長からは、3.議事から4.報告並びに説明、5.意見交換までの進行をお願いしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

**渡部会長** それでは事務局から次第の3.議事以外の4.5まで進行しなさいということでしたのでそのようにさせていただきます。それでは議事（1）平成31年度スポーツ団体への補助金交付について事務局の説明を求めたいと思います。

**齋藤（事務局）** スポーツ課の齋藤正人です。3ページをお開きください。平成31年度の補助金全体の額で4,299万6千円、対前年比で327万3千円の減でございます。保健体育総務費は、全体で1,384万8千円、前年比で161万3千円の減でございます。鶴岡市体育協会活動支援補助金が585万円、前年比で171万3千円の減となっています。これはNPO法人鶴岡市体育協会の運営、体育功勞表彰、指導者養成、ジュニアスポーツ振興等の事業に対する補助であります

が、本部人件費分の171万3千円を指定管理委託料へ移行したことによる減額であります。鶴岡市スポーツ強化後援会補助金は709万8千円、前年同額でございます。これは地元選手の競技力向上、上位大会出場選手の激励事業等に対する補助であります。鶴岡市スポーツ大会等開催事業補助金につきましては、本市で開催される東北大会以上の競技大会、記載の2大会の運営を補助するものであります。なお、前年は4大会で前年比40万円の減となっております。次の鶴岡市地域スポーツ振興補助金50万円は、じろで庄内実行委員会が実施するサイクリングイベントへ補助するものであり、新規の補助対象でございます。庄内一円をコースと致しまして9月に開催される予定でありまして、民間主体で運営されるイベントでございます。なお、酒田市さん・三川町さん・庄内町さんにつきましても補助金による支援を予定しているとのことでございます。続きまして、健康・生涯スポーツ推進事業でございます。全体で2,127万1千円、前年比で91万円の減でございます。この減額分につきましては、No.13の鶴岡ノルディックウォーク実行委員会に対する補助金が90万円の減、これにつきましては前年度、第20回記念大会として長寿社会づくりソフト事業費交付金を見込んで上乗せされていた分の減額という事になります。それからNo.29のみんなで歩こう里山歩き実行委員会に対する補助金が1万円の減、この2件以外は前年同額となっております。No.1 鶴岡市スポーツ少年団育成補助金は、鶴岡市スポーツ少年団本部に対して423万6千円、No.2 鶴岡市体育の日関連事業補助金は、子ども夢スポーツフェスティバル実行委員会に対して207万円、No.3 鶴岡市駅伝競走大会開催事業補助金は、同実行委員会に対して66万5千円、No.4 鶴岡市スポーツ・レクリエーション教室運営補助金61万6千円は、鶴岡地区体育協会連絡協議会加盟団体等22団体に対し、1件当たり2万8千円を上限に交付するものであります。No.5～No.10の補助金の名称でございますが、「鶴岡地域体育協会」とありますが、正しくは「鶴岡市地域体育協会」でありますので「鶴岡市の“市”」をここに追加して頂きますよう訂正させていただきます。よろしくお願いたします。この鶴岡市地域体育協会等育成補助金につきましては、鶴岡地区体育協会連絡協議会をはじめ、藤島・羽黒・楡引・朝日・温海各地域体育協会の運営、加盟団体の育成、地域住民対象の健康生涯スポーツ行事の実施に関する事業に対して補助するものであり、合計で354万2千円でございます。No.11～13の鶴岡市地域スポーツ振興補助金につきましては、特色ある地域スポーツ活動を推進し、広く市民のスポーツ振興及び活性化を図ることを目的に、ジャパンソフトバレーボール鶴岡フェスティバル、鶴岡市チャレンジデー、鶴岡ノルディックウォークを実施する各実行委員会に対して、合計195万9千円を補助するものでございます。No.14 鶴岡市公益財団法人藤島文化スポーツ事業団補助金は、同事業団が行う住民を対象とした健康体力づくり事業などスポーツ普及振興事業等に補助するもので521万円でございます。No.15以降につきましては、国民健康保険特別会計と一般会計を合わせて交付するものでありまして、①の列が国保特別会計、②の列が一般会計、その合計が各団体に対する交付額になります。No.15～No.28の鶴岡市てくてく健康里山あるき事業補助金につきましては、市民の皆さんがウォーキングによって健康体力づくりを推進し、季節を通じて自然、文化に親しんで相互交流を図ってもらうことを目的としまして、記載して有ります14団体に対して交付するものであり、合計104万7千円でございます。No.29 鶴岡市地域スポーツ振興補助金は、みんなで歩こう里山歩き実行委員会に対し51万円、No.30 鶴岡市登山事業補助金は、鶴岡市民健康スポーツクラブに対して15万円

ございます。続きまして4ページ、総合型地域スポーツクラブ活動支援事業でございます。全体で377万7千円、前年比で35万円の減となります。スポーツクラブを通じて市民の皆さんが自主的な市民スポーツの振興を図り、活力ある地域づくりを推進していくことを目的として、5地域のスポーツクラブに対して補助するものであります。減額の35万円につきましては、あさひスポーツクラブが30万円、はぐろスポーツクラブが5万円の減であります。これは両クラブとも、スポーツ振興くじ助成、いわゆるt o t o助成終了後の急激な減額を緩和する意味で経過措置として上乘せされていた部分を見直したことに伴う減額であります。続いて、鶴岡市ホストタウン推進事業補助金につきましては、鶴岡ホストタウン推進委員会に対して410万円、前年比40万円の減でございます。この減は、前年度は補助金に含まれていた旅費や消耗品等の需用費等について31年度は一般会計に計上したことに伴う減であります。ホストタウン推進事業の内容につきましては、この後の「報告並びに説明」のところでご説明を申し上げます。以上でございます。

**渡部会長** はい。ありがとうございます。それでは、皆様方から質問、ご意見等頂きたいと思っております。いかがでしょうか。そう大きく変わった中身はないようですがございませんか。

**村田久忠委員** 保健体育総務費の最後に新規事業で「じろで庄内実行員会」の話があったのですが具体的な中身についてわかる範囲で教えてほしい。

**齋藤課長（事務局）** スポーツ課の齋藤匠です。「じろで庄内」につきましては、庄内の自転車好きの有志の方達が実行委員会を組織しまして、庄内一周をコースに催されるサイクリングイベントでございます。距離は200km、140km、70kmの3コースの予定のようです。9月第1週日曜日に開催する予定で、全国から集まった自転車好きの方々に庄内の魅力を感じていただくという企画のようです。実は昨年9月に200人位の規模でプレ大会が実施されており、今年は本格開催という事で全国から集客して1,000人規模の大会にしたいとの考えのようです。本市としても鶴岡の魅力を発信する機会でもあり補助金で支援していきたいと考えています。

**渡部会長** よろしいですか。他にありませんか。

**丸山春男委員** よくわからないので教えてほしいのですが、3ページのNo.15～No.28ウォーキング関係の実行委員会補助金の中で、国民健康保険特別会計と一般会計に分かれている訳ですが、国保でもスポーツを通じた健康増進の為に予算を出しているとは聞いていたのですが、大元は同じで二つに分ける、特別会計だから違うのかもしれませんが、分ける意味はあるのですか。

**齋藤（事務局）** 元々は国保事業であったものを実施主体としてスポーツ課が預かる形で始まったと伺っています。国保予算で実施されていたものが、その後コースや実施団体が増え、予算を増額する中で一般会計にも予算が盛られ、その合計を交付しているという経緯のようです。

**教育部長** 財源的には、一般会計は市民の皆さんからの市民税に基づいていますが、国保特別会計は国保加入者からの国保税で賄われています。ご存知のように国保というのは事業者、勤め人以外の方々という事で、年々少なくなっている中で非常に財源的に厳しい状況にあって、その中からこういう健康づくりが医療費の抑制に役立っているという意味合いで国保が主体になっていた訳ですけども、財源自体の縮小という形で、なかなか単独では難しいという事もあって一般会計からも負担を頂いている状況にあります。

**渡部会長** 丸山委員よろしいですか。他に何かございませんか。では私から、ホストタウンの関

係で 40 万の減というのは、旅費等を他の科目に移したという事でしたが、モルトバのアーチェリーも入ってくるという話も聞きましたし、予算的にこれで大丈夫なのでしょうか。

**高橋（事務局）** ホストタウンの関係では、ここに見えないところで昨年約 500 万だったのですが、市の会計等を含めまして約 170 万位の増、合計 672 万 4 千円で事業全体が進むというふうになっております。ご存知のとおり企業協賛の方もおりますので、その方達からの協賛金という形での多大なご支援を頂きながらの対応となっております。上手く予算を割振りしながら 31 年度事業を進めたいと考えておりますので皆様方からも協力をよろしくお願いいたします。

**齋藤課長（事務局）** 前年に比べて 40 万の減という事ですが、昨年総事業費の中には旅費等も含まれており、31 年度予算では、旅費が別に確保されている事で減となっています。総額の事業費としては本番に向けて総枠を大きくして取り組みますのでよろしくお願いいたします。

**渡部会長** 他に何かありませんか。なければ「平成 31 年度スポーツ団体への補助金交付について」は承認という事でよろしいでしょうか（承認）。ありがとうございました。議事はこれだけです引き続きという事なので、4. 報告並びに説明に移ります。（1）平成 30 年度スポーツ振興主要事業等の実施状況について事務局の説明を求めたいと思います。

**齋藤課長（事務局）** まず「1. 誰もが楽しめる生涯スポーツの推進」でございます。（1）ライフステージに応じたスポーツ活動の推進につきましては、記載の通り①から⑨までの事業に取り組みました。その中で特徴的なものとしまして、⑨障害者スポーツの普及促進では、昨年 3 月のドイツボッチャチームの来鶴を機に、障害者スポーツの普及促進を図りたいという事で、市民の方々にもボッチャを体験して頂くため市民総体や福祉体育祭等でボッチャの体験コーナーを設置したところです。成果と課題につきましては、スポーツに親しむきっかけづくりとして、市民総体、レクリエーション教室等の開催支援などを通して、スポーツ活動の推進と住民相互の交流が図られたと考えております。事業内容につきましては 11 ページに記載しております。チャレンジデーにつきましては、買い物ウォーク等の取り組みもあり 29 年度より参加率は伸びたものの、残念ながら目標の 50%に達せず、対戦相手の秋田市から負けてしまいましたが、ライフステージに応じてスポーツを楽しむ事が出来る機会を設定したところがございます。てくてく健康里山あるきにつきましては、各地区体育協会さん、スポーツクラブさんの協力を得ながら地域の特色を生かしたコース設定で実施し、市民が健康づくりを行うきっかけとなったところがございます。この実施内容につきましても 11 頁に掲載しておりますのでご覧いただきたいと思います。その他、ウォーキングビンゴ、50 万歩・100 万歩への挑戦というような取り組みも実施したところがございます。6 ページをお開きください。（2）子どものスポーツの機会の充実につきましては、①から⑧までの事業を実施しています。⑧子ども夢スポーツフェスティバル in 鶴岡につきましては、台風の接近によって来場者の安全を考慮して残念ながら中止としたところがございます。この他小中学校学習指導要綱に従い、子どもたちの運動・スポーツの対応の楽しみを共有できるように取り組んだところがございます。（3）市民が主体的に参画する地域スポーツ環境の整備につきましては、記載の①から③までの事業を行っています。地域住民の健康維持増進への活動・地域における生涯スポーツの振興を担う総合型地域スポーツクラブの育成を図ったところがございますが、一方で会員増を図るなど安定した運営を確立していくことが課題となっております。この他、講習会や研修会等を通して

指導者の養成・資質の向上を図ったところでございます。続いて「2.感動と活力を与える競技スポーツの推進」です。(1)競技力向上に向けた人材養成につきましては、鶴岡市体育協会、鶴岡市スポーツ強化後援会の取り組みを支援すると共に、各種事業の実施によりまして指導者養成・競技力向上を図ったところでございます。8ページ「3.誰もが安全安心に利用できるスポーツ施設の環境整備」につきましては、スポーツ施設の有効活用と整備推進を図ったところでございます。経年劣化等による設備改修の必要がある部分につきましては、安全安心に利用できる環境整備に取り組んでまいりました。改修の主なものとしまして12ページに記載しておりますのでご覧いただければと思います。それから、屋内多目的運動施設整備につきましては、今年度基本計画を立て、地質調査を行ったところでございます。また昨年の12月議会におきまして補正予算を可決していただきまして、現在設計業者におきまして契約の手続きを進めています。設計が11月頃に完成する予定となっておりますので、出来次第出来るだけ早く工事に掛かりたいと考えています。(2)スポーツ施設の管理運営の充実につきましては、身近なスポーツ活動の場として利用者ニーズに沿った管理運営を図ったところでございます。その他として、受益者負担という事も有りまして平成28年10月から学校施設の利用を有料化したところでございます。次に9ページ「4.地域に活力を生み出すスポーツ環境の充実」です。(1)スポーツを通じたコミュニティづくりの推進につきましては、地域・地区・学区体育協会の活動支援、鶴岡市民総合体育大会の開催支援を行ったところでございます。各種大会を通じて選手間の交流や応援する住民の相互の交流・地域活力の醸成が図られたと考えております。後は鶴岡市体育協会さんの功労者表彰の支援、受賞者の技術力向上意欲、市民スポーツへの興味関心などの高揚が図られたところでございます。(2)スポーツによる地域づくりと活性化につきましては、「みんなで歩こう!里山あるき」、「ジャパンソフトバレーボール鶴岡フェスティバル」等、全国から参加者を募って開催し、参加者同士の交流や参加者と地元スタッフとの交流が図られる等、交流の促進が図られたと考えています。10ページ⑤2020東京オリンピック・パラリンピックに向けたホストタウン事業の推進につきましては、会長からお話がありました通り、来年いよいよ本番を迎えることとなります。鶴岡市は「ドイツ」「モルドバ」のホストタウンになっており、スポーツ交流、事前合宿の招聘を予定しております。説明は以上でございます。

**渡部会長** 30年度の実施状況について説明がありましたが、これらの評価・意見等について出していただければと思います。どの項目でも結構ですからご発言を頂きたいと思っております。

**丸山春男委員** 6ページ「子ども夢スポーツフェスティバル in 鶴岡」が台風の関係で中止になった訳ですが、最近防災関係にかなり関心を持って行政も力を入れている訳ですが、「すばらしい判断だった」という声が多かったと思います。風も強かった関係でテントなどは当然、もしやっていたら大変なことになっていたであろうという事で、周りの人からは良かったという話がありました。質問ですが7ページの④ドリームキッズが鶴岡から27人ほどと記載がありますが、その後どうなっているか、もし分かれば情報提供、要するにドリームキッズに参加してどのような活躍をしているかが分かれば参考に教えてもらえればと思います。

**阿部(事務局)** スポーツ課の阿部三成と申します。私の知る限りの情報提供なのですが、第1期生が鶴岡に3名いたのですが、その内の一人が福岡ソフトバンクホークスに入団した吉住晴

斗選手です。それから四小学区の五十嵐紫乃さんという方が、山形中央高校から今慶應義塾大学の一年生なのですが、スキーでこの前の全日本大学選手権、たぶんアルペン部門だと思えますが1位だという事で情報が入っています。

**渡部会長** よろしいですか。他にございませんか。

**千田洋子委員** 「50万歩・100万歩」について、一昨年まで「50万歩」に去年から「100万歩」を追加したのはどうしてかという事と、新しくしたのになぜタオル一本なのかをお聞きしたい。

**阿部（事務局）** 昨年までの50万歩の場合でも、最高歩数の方は350万歩くらいで、さらに100万歩を超える方が結果的にいらした事もありまして、それであればカテゴリを分けて50万歩に挑戦する方と100万歩に挑戦する方と、期間も長くして設定いたしました。以前50万歩は9月で終わる形でしたが、100万歩も入れて11月いっぱいまで挑戦しようという取り組みをしていました。50万歩挑戦の時期については、全く歩いていなかった方も徐々に歩数を増やしながら歩いて頂いて最後の結果を試す機会として、9月に開催される「みんなで歩こう里山あるき」で50万歩にチャレンジした成果を試みましょうという事がそもそものきっかけと聞いております。もっと上の歩数を目指そうという方もいたものですからニーズに応えまして「100万歩への挑戦」も取り入れたところです。ただ先ほど千田委員からありました、タオルの件につきましては、こちらでも十分考慮すべき点であると思います。

**千田洋子委員** 差がつけばもっとスポーツに対する意欲がわくのではないかと、話題性があつたほうが良いかと思ひまして。

**阿部（事務局）** あと300万歩歩いた方なども本人の承諾を得まして、いろいろな会報等でご紹介させて頂き、他に歩いている方の励みになる形で紹介させて頂いているところです。

**渡部会長** よろしいでしょうか。他にございませんか。

**齋藤隆委員** 5ページ「てくてく健康里山あるき」ですが、150人程トータル的に減っているのがと読み取れますし、トータル的な表が11ページにあるのですが、男女の別であるとか、年代層とか、どんな方々が参加しているのか、減った理由は何なのかはどうでしょうか。

**齋藤課長（事務局）** 「てくてく健康里山あるき」の参加状況という事ですが、男女の比率等については資料を持ち合わせていませんが、割的にはどちらかというと女性が多いかなという気がします。6:4か7:3くらいの感じかと思っています。参加者は中高年の方が多いような状況かと思ひます。150人程減っているという事については、やはり年々ご自分の体力等の状況もあつてか、そういった方々が参加しなくなった、減少しているという事もあり、新規の参加者を募集したいと言ひますか、そういった方々からぜひ参加して頂きたいと考えておりまして、そういう事も含めましてコースの変更等も考えているところでございます。

**渡部会長** よろしいですか。私から12ページ、これは齋藤委員から話した方が良いかもしれませんが、トレーニングルームの利用者数の増減について、どういうふう分析されているからよつと話していただけますか。藤島は相当増えて、他は全部マイナスという事になっています。特に持ち合わせてなければいいですが。

**齋藤課長（事務局）** 分析とまではいきませんが、それぞれのトレーニングルーム4か所4施設にある訳ですが、それぞれの施設にある器具が違うという事もあり、利用される方の希望と言ひますか、そういった所での差はあるのかと思ひます。機器も設置してからかなり年数が経つ

ているという事もあり、経年劣化で用具が使えなくなっているという物もありまして、そういった部分で利用が少なくなっているという事もあるかと思えます。正確な分析とまでは至っていませんが、それぞれの機器の違い等によるところが大きいのかなと感じております。

**渡部会長** ありがとうございます。他県の状況というほど私も調べてはいないのですが、やっぱり公立、企業の別なく非常にすばらしいトレーニング施設が出来上がっているという状況のようです。よりニーズも高まっていると、また面積もものすごいのがどんどん出来ているのです。小真木原総合体育館の施設はマイナス 1200 人とありますが、非常に狭くて、機器の劣化はともかく面積的に狭い。これはやっぱり将来的な課題として捉えていただくとありがたいという気がします。いくらすばらしい機器を導入しても、ゆったりと出来ないという事は致命的だと思います。ぜひ将来的に検討を頂ければありがたいという気が致します。直接携わっている齋藤委員おられるので何かないですか。

**齋藤隆委員** その通りだと思います。狭くは感じます。

**渡部会長** 他にございませんか。なければ報告の（１）については閉めさせていただきます。では報告の（２）平成 31 年度スポーツ振興重点施策について事務局の説明を求めたいと思います。

**齋藤課長（事務局）** 平成 31 年度スポーツ振興重点施策について説明させていただきます。大きい 4 番とありますが、教育委員会の重点施策の中にあります番号ですので 4 番という事になります。「生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の推進」につきましては、前年度と同じ内容になっております。市民の誰もが年間を通してそれぞれの体力や年齢・目的に応じて、スポーツ・レクリエーション活動に親しめる生涯スポーツの推進を図るという事になっております。生きがいのある生活の実現と心通い合う地域社会の形成に努めるという事で考えております。続きまして、競技スポーツの推進、スポーツによるコミュニティづくりや地域活性化を進めまるという事で考えています。その為にスポーツ施設の環境整備を進めるとともに、充実した管理運営に努めていくことにしています。皆様にご尽力頂きましたスポーツ推進計画につきましては、平成 31 年度が後期計画の初年度でありますので計画の着実な推進を図ります。（１）誰もが楽しめる生涯スポーツの推進につきましては、①のケ、ボッチャをはじめとした障害者スポーツの普及促進についても力を入れて行きたいと考えております。②子供のスポーツ機会の充実につきましては、外部指導者の活用等運動部活動の充実という事で取り組みを進めていくということで考えています。（２）感動と活力を与える競技スポーツの推進につきましては、30 年度と同様の形で進めてまいりたいと思います。14 ページ（３）誰もが安全安心に利用できるスポーツ施設の環境整備につきましては、①のイ、屋内多目的運動施設の早急な整備促進という事で進めてまいります。これから設計という事になりますが、2021 年度内の完成を予定してそれに向けて今事業を進めているところでございます。（４）地域に活力を生み出すスポーツ環境の充実につきましては、②スポーツによる地域づくりの活性化のオ 2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けたホストタウン事業の推進が大きな事業になっていくかと思えます。合わせましてこの世界バドミントン U-15 の開催支援につきましては、後ほど詳細を説明させていただきますが、今年の 6 月 29・30 日二日間に掛けて行われる世界大会であります。こういった事にも取り組んで行きたいと考えております。非常にかいつまんだ形のご説明となりますが以上でございます。



**渡部会長** 主要事業については、また後ほどということのようですが、重点施策で列挙されているものについて簡単に説明がありました。ご意見等賜れば幸いです。いかがですか。

**齋藤隆委員** 9ページ②シルバーレクスポ大会ですが、多分年配の方々を対象にしたレクリエーションスポーツ大会ですね。ネーミング的に、私もシルバーに入ってくるとシルバーという使い方がアレなので、この間の推進会議では「命いきいき」との事だったので、「命いきいきレクスポ大会」とか、シルバー大会というと、なんかあなた方は終わりですよみたいな感じがするので、「シルバー」とは使いたくないものだなあという感じですけど、「命いきいきレクスポ」とかですね、もしこんなことが出来るのであれば、そんな感じを持ちました。

**齋藤課長（事務局）** 貴重なご意見ありがとうございます。ネーミングにつきましては、現在のところ「シルバーレクスポ」という事で考えているところですが、今後の会議などでご意見を聞きながら名称の変更について検討していきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

**鈴木金右エ門委員** 13ページ「ライフステージに応じたスポーツ活動の推進」の中に「チャレンジデーの実施」とあるのですが、今年度も実施するという事で、最近なかなか勝てない状況という事で、これまで何年かやってきて、例えば市民がスポーツを楽しむ機会がどういう風に増えてきたのか、どうなのかの分析などあれば教えていただきたいのと、今年度何か特徴的な取り組みがあればそれも合わせて教えていただきたい。

**齋藤課長（事務局）** ご意見ありがとうございます。チャレンジデーにつきましては今年で7回目になります。残念ながらこれまで鶴岡市は対戦相手の自治体から2回程しか勝てていない状況です。平成30年度は50%を目標として取り組んだところでございますが、対戦相手の秋田市が予想を超えて58.7%とかなりの高率でありました。一番は生涯スポーツの取り組みきっかけという事でこのチャレンジデーに取り組んでいるところでございますが、やはり働いている世代の方々の参加が低いように感じており、企業等を通して出来るだけ参加を働きかけたいと思っておりますし、若い世代の方たちもなかなか興味を持っていただけないという事もありますので、参加しやすい、報告しやすい形で、例えばスマートフォンなどで報告出来るような仕組み作りもできればと考えておりますし、皆様からのご協力を頂いて、出来るだけいろんな所にお声掛けをしまして、参加率を上げて、このチャレンジデーをきっかけとして皆様が生涯スポーツ、運動に親しむきっかけとして取り組んでいければと考えております。

**渡部会長** なかなか深い分析というのは難しいと思えますけど、こう負けが続くと何でということになると思うので、事業の捉え方なり進め方なり、あまりにもこの地域が厳しく捉え過ぎているという気はしなくもないですが、他ではもっと緩やかにどんどんと参加を認めているのかなという気がしなくもないですがね。その辺はどうでしょうか。

**齋藤課長（事務局）** 平成30年度は「買い物ウォーク」にも取り組んだわけですが、一方では買い物に行きただけが運動になるのかという意見もあります。その辺りの考え方、捉え方が難しいところかなと思います。例えば小規模な自治体ですと参加率が100%を超える所もあります。その状況としましては住民の方だけでなく、例えば観光なりでその自治体に訪れた方も参加者として捉えているという事もあります。この捉え方は非常に難しいとは感じています。何れにしましても、このチャレンジデーが体を動かす、スポーツに親しむきっかけという事で鶴岡市も取り組んでいますので、出来るだけ皆さんから、体を動かす楽しみを知って頂

きたいという事で取り組んでいきたいと思います。

**渡部会長** ありがとうございます。委員の方に伺いたいのですが 14 ページに「トップアスリート等優れた指導者の活用推進」「人材の好循環サイクル確立への協力」と項目があります。これは将来的に非常に大きな課題かなと私的には捉えています、さまざまな視点でご意見あるかと思えます。経済活動というか経済情勢等々を踏まえて、この問題について何かご意見があれば、佐藤委員いかがですか。なかなかUターンを求めるについても、極端に言うと待遇面がいきなり出てくるという事で厳しい面あるかと思えますが、考え方なりございますか。

**佐藤祐司委員** スポーツ指導者という事なのでしょうけども、非常に難しいと思うのですが、その上のところに「世界バドミントンU-15」とか、いろんな意味で国際大会もやれるとか、そういう情報発信が大事だと思います。そういう一つひとつ大事にしながら、指導者の方の招致とかについては、ここで具体的な提案は持ち合わせていないのですが、そういう意味で「世界バドミントンU-15」とか、そういうものを利用したり、あるいはその反動を立ち上げるというのもよく手法としてはあるのですがこれはよく考えていけないのかなというところだと思います。回答になっていなくてすみません。

**渡部会長** 関連して石川委員いかがですか。

**佐々木真人委員** バドミントンのことを聞こうと思っていたところです。先端産業のところから思わぬ U-15 の事業を継続してやらせていきたいというようなことで要項も最近出たばかりですか。それと市の関わりと先の見通しなんかあれば出していただけますか。

**渡部会長** バド世界大会その辺どうですか。

**齋藤課長(事務局)** 資料の 17 ページ「世界バドミントンU-15」につきましては、「世界バドミントンU-15 庄内国際招待 2019」という大会名で、主催は一般社団法人世界バドミントンU-15 推進協議会、会長は慶應義塾大学先端生命科学研究所の富田所長となっています。鶴岡市は共催という形で関わり、世界 U-15 ですが実質的には中学三年生までの年代が参加するという事で進めています。一般社団法人が主催という事で、特別協賛という形で民間企業から基金を募り、大会の開催経費に充てるという事になっております。期日は6月29日・30日の2日間。29日が予選リーグ、30日が決勝トーナメントとなります。参加選手は、世界八か国、基本的にはバドミントンが強いといわれるような国から選手を派遣していただくという事で、海外の選手と、それから日本代表になるような選手、地元枠という事、それぞれ男女16名が戦う大会になります。鶴岡での国際大会は、海外から選手がくる大会はありますけれども、本格的な世界大会というのは、この「世界バドミントンU-15」が初めてで、こうした大会を開催することによりまして、食文化も楽しんで頂きながら鶴岡の魅力も更に発信して頂きたいと考えておりますし、世界から15歳以下のトップレベルの選手が集う大会となりますので、試合を見る事で競技力向上にも繋がりますし、また、海外選手との交流等で国際的な視野を広げて頂きたいとも考えております。会場は小真木原総合体育館で、その開催に向けてあと2か月ほどですが、主催団体と調整をしながら準備を進めているところです。

**渡部会長** 先ほど石川委員にご意見を伺おうとしたのですがどうですか。

**石川真澄委員** 先ほどの話に絡みますし今のバドミントンにも絡みますけども、鶴岡南高校では地域に戻ってくるような授業が必要であろうという事で、様々な形で本校においても地域を知

ってもらおうとか、そういったような活動をしております。そういったところの中でこのようなバドミントンの大会があると、以前富田所長ともお話をさせて頂いたときに、この狙いというものを持ってなるほどなと思ったのですが、鶴岡を情報発信する大きなイベントでありますので、地域を知ると同時に、国内の広い地域、国際的な地域、山形の鶴岡という地域がバドミントンの聖地といわないまでも、こういった取り組みのメッカとなるような形になっていくことを願っていると、それで鶴岡の発展につながっていくという事に結び付けていきたいということでありました。それが続いていけば、鶴岡そのものがそういった情報発信する都市として、子供たちが本校の場合はちょっと外に出ていく人間が多いですが、そういったレベルの子供たちも鶴岡に戻って、企業家や、そういった所までつながっていくだろうという考えを持っています。それが例えばこの競技力向上といったような視点でスポーツにつながっていく事であれば、地元に戻ってそういうような事を出来るような人材が増えてくるという事につながってくる訳ですので、若い選手たちがどんどん中央で活躍するのは良いのですが、その一方でこういった活躍の場を鶴岡、地元で行えるような体制作りのようなことが必要なのだろうと思っています。バドミントンはきっかけなのでしょうけども、その他にあるホストタウン事業もそうでしょうし、そういった国際的なものをもっともっと大いに取り組んでくる、そして鶴岡の地域活性化に繋げていく、優秀な選手が戻ってくる、というような流れを作っていく事が大切だろうと思います。ただ、人材育成というところで、例えば学校に限って言うと、そういった場合の指導者が、なかなか高校でも、中学でもそうだと思いますが、学校体育という場面で考えますとなかなかそういった選手が学校に戻って、指導者として活躍出来る場というのが作りづらい状況にあることは確かですので、そういったところを改善していくような取り組みが難しいの一方で課題になっていると思います。本校でも来年度からトップレベルの選手をなさっている方が講師としてお勤めになられますけども、ただそれが正規の職員として採用されている訳でもございませんので、そういったところが課題になってくるだろうと感じます。

**渡部会長** 関連して齋藤委員いかがですか。

**齋藤範夫委員** 中学校で言いますと、現在部活動指導員を各校に来年度は1名ずつということでありますけども、それに対しても金銭面の方で足りないのかなという事で、天童あたりですと、部活動指導員になった方がその学校のいろんな部活動の手の足りないところを見たりですとか、先生方が引率できない大会にびっしり行ったりとか、年間二百何日も行っているという話を聞いたりとか、そんなことで指導員の経済的な補償と言うか、その辺も無いとなかなかうまく根付いていかないのかなという感じはします。また、今のバドミントンの事で中学生が関わってきますが、地元枠という事で、地元からも出られるという事で大変良いことだと思いますけども、期日的にどうしてもテスト直前ということもありますので、次年度あたりからは、この辺も考慮してもらってもっと会場に足が向く子供が多くなるのではないかと思います。

**渡部会長** ありがとうございます。関連してスポ少はどうですか。村田委員。

**村田久忠委員** バドミントンの大会の事で分ければ教えてほしいのですが、競技方法が予選リーグ4人の4リーグで16人だと思っておりますけど、参加選手のところでドイツ・デンマーク・フランス・アメリカ・韓国・インドネシア・タイ・マレーシアと8か国あるのですが、ここから2名ずつで16名になるのですが、国内2名とか地元枠はどこに入るのか、それとも一つ、

特別協賛にミズノ株式会社とありますが支援内容がわかれば教えて欲しい。

**齋藤課長（事務局）** 合計 16 名と書いてありますが、先ほど申し上げました通り日本の選手、地元の選手という事でありますので合計の人数が違ってくる部分があるかと思えます。基本的にそれぞれ違った地域毎に対戦して、予選リーグを組んで、予選を勝ち上がった人が次の日のトーナメントに出るという事になります。残念ながら上位二人に入れなかった選手は、翌日に交流試合となります。出来るだけ多くの選手が交流を深めながら試合が出来るよう 1 日目で終わらない形で試合を組むように考えているようです。競技方法につきましては、地元バドミントン協会を中心にやっていますので、申し訳ありませんが詳細についてご説明出来ませんがお許しください。ミズノの協賛内容につきましては、用具の提供などを中心に、金銭的な部分での支援もあると聞いています。用具では、バドミントンですとヨネックスさんが代表的なメーカーですが、ミズノさんでもシャトルコック等を提供したいという事もあるようですし、また、ミズノさんの関連会社になりますけども、セノーさんというコートマットを作っている会社がありまして、そういったところの準備もしていただくという事で、用具関係でミズノさんがかなりの部分で協力してくれると聞いております。スタッフが着るウェアにつきましても、ミズノさんから協力いただくような事で聞いております。

**渡部会長** 昨日、体協の理事会があったのですが、そこでもこの話題になりまして、バドミントンの競技団体の方からは、もう時間が無いのだけでも詳細についてもうちょっと詰めなきゃならないという話でした。なかなか競技団体も大変なようです。他にございませんか。

**佐藤しおり委員** 13 ページ③地域スポーツ環境の整備に、スポーツ指導者の養成と資質向上とありますが、そのための具体的な事業とか、どうやっているのか教えて頂きたいです。いろんな競技があって、スポーツ少年団の指導者やスポーツクラブや生涯スポーツの指導者もいる訳ですので、どのような方に対してどのような支援とか事業をしているのか教えてください。

**齋藤課長（事務局）** 地域スポーツ環境の整備についてのご質問ですが、総合型地域スポーツクラブのスポーツ指導者の養成、スポーツ推進委員の養成ですけど、さまざまな研修などを通して、例えば 6 ページの 30 年度実施状況では、情報交換会ですとか研修会ということで開催しております。このような形で指導に当たられる方、運営に当たられる方々が、そのノウハウを知って頂きながら取り組みを進められる様に支援していきたいと考えております。

**渡部会長** よろしいですか。他にございませんか。

**齋藤隆委員** 13 ページの（1）キ「スキー・ヨット教室」は、昨年度の大会支援から教室の支援に文言が変わったようですが、その狙いとその考え方はどういったところなのでしょうか。

**齋藤課長（事務局）** スキー・ヨット教室などの地域性を活かしたスポーツ活動の支援ですが、スキーにつきましては、市内にスキー場がございますし、スキー等に関わる人口、利用者も減っているという事もありますので、そういった掘り起しなどでもしたいという事もあります。ヨット教室につきましては、鼠ヶ関にマリナーがございます。そういったそれぞれの地域特性、雪・海などの地域資源を活かしながら裾野を広げたいという事で、独自の団体がスキーですとスポーツ少年団がやっているものもございますし、ヨットにおきましては鼠ヶ関で小学校の授業などでも取り組んでいるという事も聞いております。そういった部分に支援をしていきながら、底辺の拡大をしながら地域の魅力を感じて頂けるような事で考えております。

**渡部会長** はい。他にございませんか。

**鎌田博子委員** 全体的に子供から高齢者まで幅広く様々な施策が実施されようとしているのですけれども、幼児の部分（１）②「子供のスポーツの機会の充実」、この幼児期からの運動の習慣化をもうちょっと具体的に実践計画を立ててほしいなという事があります。それともう一つ、先ほど石川委員さんからもありましたけれども、運動部活動と指導者との関係ですが、天童さんのお話がありました。例えば外部指導者を大いに活用して頂いて、先生が大会に行くのは大変な支障があるかもしれませんが、その時に指導者、コーチが代わりについて行けるようなシステムをぜひ考えて頂いて、優秀な指導者、外部指導者がたくさんいると思うので、そこをもっと生かした部活動の取り組みをして頂ければと思います。また、学校体育の授業でも外部指導者の充実を図っていければ良いと思うのでよろしくお願ひします。

**渡部会長** 鎌田委員からは、幼児期のスポーツ関連についてもう少し検討して頂きたいという要望ですね。それと、学校教育の中での外部指導者についても積極的に検討して頂ければという、これはあくまで、要望という事だと思いますので事務局よろしくお願ひいたします。

**鎌田博子委員** 資源を十分に活用して頂いて。よろしくお願ひいたします。

**渡部会長** すでに意見交換になっていますが、この際特にこれだけはというのがございましたら頂ければと思いますが。無ければ何か事務局からありませんか。

**齋藤課長（事務局）** ホストタウン推進事業と、屋内多目的運動施設整備事業について、担当者から説明をさせて頂きたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。

**高橋（事務局）** 15 ページ、ホストタウン事業について、事業概要と推進内容をまとめさせて頂きましたのでご覧ください。事業につきましては、2020 年東京だけで終わらないように、交流という事から地域の活性化を目指すものでございます。ご承知の通り、ホストタウンにつきましては、当市は二か国で実施をしており、ドイツ連邦共和国はスポ少がきっかけで、モルドバ共和国は、櫛引の渡会電気さんの政府開発援助関係がきっかけで取り組みをしております。事業推進につきまして右側をご覧ください。競技スポーツの振興という事で、ドイツボッチャチーム合宿の受け入れを行う予定です。これは平成 30 年 3 月に実施して以降、いろいろと大会等があり来られなかったのですが、今年の夏を目指したいという事で、明日からキーマンが来ますので調整に入る予定としています。あとモルドバ国の合宿受入は、先ほど会長からありました通り、4 月 16 日（火）～5 月 6 日（月）の丁度ゴールデンウエーク 10 連休中にいらっしゃいます。また、競技役員の視察を 3 月中に実施する予定です。二つ目の柱とした「障害者スポーツの振興」については、パラリンピック競技への興味促進、ボッチャ大会の開催、これは冬場にやりたいと考えています。障害者スポーツは、頑張っている方がいますので、そういった顕彰制度の検討と創設を検討していきたいと考えています。あと 3. 交流促進・地域の魅力発信については、オリンピック・パラリンピアンを招きながら、様々な事業を展開していきたいと考えています。SOMPO 事業、富士通の企業による支援等様々な制度を活用しながら実施したいと思ひています。交流事業のメインとしましては、両国へのツアーを実施したいと考えています。両国の競技団体、アーチェリーあるいはボッチャ競技団体との合宿合意書締結を結ぶ事をメインに、モルドバ・ドイツ国へのツアーを検討しております。市長から出席して頂きたいと考えております。同じく両国選手、大使館等々の関係者との交流事業、食の発信、高校生

とのコラボという事で書いています。アーチェリーが来る際に4月18日鶴南で二年生を対象としたゼミがあるわけですが、特に英語ゼミの方との交流会を実施しようと計画を進めているところです。また、ポッチャが来た際にはドイツ語を授業で学んでいる高専の方々との交流事業、あと障害者の振興という事で掲げていますが、中央高校総合学科の福祉系列の生徒たちとの授業を連携しながら、高校生とのコラボで、オリンピック・パラリンピック等々を認識して頂ければという事でいろんな企画を考えているところです。実施の体制につきましては、企業の方との協賛会、市内のホストタウン推進本部を設置し、両者が連携しながら事業を進めていきたいと考えています。なお、16ページにはこれまでの取り組みという事で、2016年ドイツとの第二次登録認定以降、今年度の3月末、今週の日曜日まで事業を控えており、こうした形で様々な事業をやってきたところですが、また次年度、あと本番に向けて様々な事業を進めていきたいと思っておりますので皆様方からも協力をお願いしたいと思います。

**渡部会長** ホストタウン関係の説明がありましたが、15・16ページに詳細が記載されていますのでご覧頂きたいと思っております。また、17ページのバドミントンについても詳しくありました。その後、皆さん関心があると思っておりますが、屋内多目的運動施設について事務局説明をお願いします。

**阿部（事務局）** それでは18ページをご覧ください。屋内多目的運動施設ですが、基本方針としましては、整備に向けて下に記載しております基本コンセプトを設定し、幼児から高齢者まで幅広い年齢層の市民誰もがスポーツ健康体力づくりの活動拠点として活用頂く事で、気軽に利用できる施設環境の充実を図って行くという事を目的としております。基本コンセプトとして、競技力向上を目的とした練習場として、市民の健康づくりのために生涯スポーツ活動の拠点施設として位置づけるものであります。整備施設の機能性として、7点記載されている通りになります。整備予定地は大山工業団地内、鶴岡TDK正門前の更地になっている場所です。用地としては約10,000㎡の用地を確保しており、整備する予定としております。基本仕様につきましては、構造が鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造。屋根が鋼板葺、階層は2階建ての予定です。面積は延べ床面積5,000㎡。部屋の配置につきましては、1階に人工芝アリーナ。約3,600㎡の人工芝スペースとなります。付属としてアリーナまで繋がるホール、トイレ、更衣室、器具庫、事務室などを備えます。2階にはウォーキングコース、アリーナの上を歩く形になるのですが、一周約240mを計画しております。人工芝でこういった事が出来るかと言いますと、19ページに図が載せてありますが、ゲートボール8面、フットサル2面、硬式・軟式テニス4面のラインを引く配置を計画しております。暑さ対策は、基本的に人工芝アリーナは冷暖房等を完備する予定がない事から、空気の対流をうまくする為に工夫を加えるという事で、空気ファンであるとか、そういったものを設置する予定としております。2階に行くための方法として、2つのパターンが考えられるのですが、設計をスタートした段階においては、車いすの方がスロープだと自走で昇ることが難しい、また下る時も危険が伴うといったことを考慮し、今の段階ではエレベーターの方向で検討しているところであります。あと、段差のないバリアフリーの構造。車いすの方がゆっくり使うことが出来るトイレの設置とか、そういったものを工夫しながら考えていきたいと思っております。駐車場は200台を整備したいと考えております。今後の整備スケジュールについては、地質調査は昨年12月に完了しており、基本設計を3月20日からスタートしているという状況になっています。基本設計、実施設計は今年11

月いっぱいまで業務完了することとなっています。本体工事は 32・33 年度、元号変わって 2021 年度中に全て外装工事も完成し、共用開始という予定を立てております。事業費につきましては、現在、建築需要や人手不足、また 10 月の消費税率の改定に伴いまして、様々な上昇要因が考えられるところですが、精度の高い本体工事費につきましては、実施設計の際におおよその数字が分かるのですが、近隣の事例を考慮しまして、現時点での大枠として本体工事に 15 億円程度かかると見込んでおります。用地取得費は支払いしているところですが、それらすべて含めると総事業費 21 億円程度というような事を想定しております。6 には、これまでの経過を細かく書いていますが、最新のところでは、3 月 14 日に設計業務の入札会を開催し、市内の設計業者 3 社共同という事で設計業務を発注しているところです。

**渡部会長** それではホストタウンと屋内多目的運動施設関連で何かご意見あれば。

**齋藤隆委員** 大変失礼な質問になるかも知れませんが、多目的の方ですが、丸山委員にもお聞きしたいのですが、最近はグラウンドゴルフを大分年配の方がやるようですが、ゲートボールは、今の需要と言いますか、やっている人口と言いますが、需要があるものですか。

**佐々木真人委員** まだありますけれども、20 年前のメンバーがそのまま年を取っているという状況です。温海の場合は前 200 人ほどメンバーいたのが今は 50 人弱。そういう状況です。

**渡部会長** 他の地域でご存知の方おられましたら。事務局いかがですか。今の件について。

**阿部（事務局）** 鶴岡のゲートボール連合会の方に体協の加盟団体あるのですが、現在の登録者数を伺ったところ 150 名程と回答頂いております。大会等でも活躍されている方が多くいまして、今年の国体にも県代表で行かれるという方であるとか、東北大会で優勝されているという事で、昨年も二回程市長を表敬訪問に来られるなど頑張っている選手はいるようです。

**渡部会長** 齋藤委員、よろしいですか。

**齋藤隆委員** だいぶ強調して掲載してありますので。

**渡部会長** なお今後の競技人口の動向については十分検討して頂ければと考えます。他にございませんか。無ければ意見交換は、この辺で終わりたいと思いますが、はい。佐々木委員。

**佐々木真人委員** 21 ページのスポーツ行事予定表に 4 月 21 日さくらマラソンがあります。現在、1,700 名を超える参加者で打ち切っています。当日は 1 万名近い方が来るのではないかと思います。締め切り人数は 1,200 人で、自動計測なので 1 万人でも 2 万人でも出来るのですが、駐車場と施設のキャパの関係でこの人数でやっています。なお、合併最初は教育長が来ました。榎本市長は毎回。皆川市長も昨年おいで頂いて、ずっと名誉大会長ですけど来ていただいています。今年まだ上がっておりません。スポーツ課長さんも来たことございませんので、ぜひ来ていただきたいと思います。駐車場は満杯です。温海庁舎に通せば役員駐車場を確保しますのでよろしく願います。例年のとおりに行える状況です。あと一つトライアスロンですけども、ご存知の通り残念ながら事故がありまして、その後裁判という事で 3 年あまり経過しまして、12 月に結審して市からも大変な協力頂き、議会も通して頂いて 500 万の賠償金という事で、そのうち 300 万は大会で掛けている保険と、市の方から頂いてという事で決着をみたところです。ただ、3 年も経過しておりまして、トライの実行委員会の方ではきっちりした形でやるかやらないか、きっちりしなさいという話をしているところですけども、各自治会の関係もあって、また初回から 30 年以上も来ている東京都とか遠方からの愛好者の要望もあって、その方々

と協議しながら今年の7月を目途にきっちりした形をだしたい。大会実行委員会に鼠ヶ関支部も支部長も入っていないという特殊な環境の実行委員会なものですから、どういう形になるか、本当に皆さんに心配と迷惑をかけたと思っています。

**渡部会長** さくらマラソンは出席要請のようですが検討を頂ければと。他にございませんか。

**鈴木金右エ門委員** 要望になりますけども、市街地というか、山間部においては人口もかなり高齢化しているのです。総合型地域スポーツクラブも平均年齢も毎年1歳ずつ上がっているという状況の中で、スポーツクラブ自体の運営で今年度同額の補助金頂いてありがとうございます。今後自立運営という事になると、なかなか現状としては会費の値上げ等は何年かに1回はやっているわけで、これから市内も当然高齢社会なる中で、スポーツ振興と高齢社会をどうやっていくかは、私どもスポーツクラブもそうですけど、行政としてもやはり視点を変えて、生涯スポーツの振興という面でもう少し力加えていきなり、視点を変えていく必要も、当然今その時期に来ていると思いますのでぜひその辺の考え方を課題として捉えて頂ければと思っています。あと、もう一点スポーツクラブそれぞれ事業展開する中で、先ほど、てくてくは国保からの支援を頂いて運営しているとあるのですが、その他、長寿介護課でやっている事業とか、健康福祉部の方でいろいろ事業展開、こういう事業やしませんかと地域に入っていく中で、そうするとスポーツクラブとの接点・関係がなかなか気まずいまではいかななくても、スポーツクラブでやる場合は、指導者派遣なり、お金を頂いているのですが、健康福祉部だと無料で講師を派遣して事業を展開しているというギャップがあるものなので、その辺私どもに情報を頂くなりすると、地域との関係もうまくいくのかなと思うのでぜひ、出来る時点で結構ですので今年度、例えば健康福祉部で地域に入るスポーツ関係というか、健康づくり事業とかこういう事業を予定していますよみたいな情報があると、スポーツクラブでも、それを参考にいろいろ事業展開できると思いますのでぜひその辺の検討をお願いします。

**渡部会長** 1点目は、どこのスポーツクラブでも抱えている大きな問題だと思います。2点目には、鎌田委員にも前に指摘頂いた件でありますので、事務局の方で検討を引き続きお願いしたいと思います。片方は有料、片方は無料、事業調整はどこでと、いつも議題になる事ですので、そろそろ考え方なりをまとめる時期に来ているのかなという気が致しますのでよろしくお願ひしたいと思います。他にございませんか。

**齋藤課長（事務局）** スポーツ課からですが、29年度終盤にスポーツ課の事務室移転について皆様にお話させて頂いた時期があったかと思います。現時点でスポーツ課の事務室移転については具体的スケジュールがございません。これからホストタウン事業、バドミントンU-15というような大きな事業を控えているという事もあり、現在の事務室でやっていく予定としております。ただ何れにしましても、スポーツ課の移転は一つの課題となっておりますので、その際は皆さんにご意見を頂きながら進めていきたいと思っておりますのでご協力を頂きたいと思っております。

**渡部会長** 特にこの際という意見が無ければ、この辺で閉じたいと思いますがよろしいでしょうか。それでは進行を事務局にお返しします。ご協力ありがとうございました。

**高橋（事務局）** 渡部会長、議事進行ありがとうございました。次第の6「その他」でありますが、委員の皆様から何かございますか。無いようであれば、これもちまして、平成30年度第4回鶴岡市スポーツ推進審議会を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。